

- 教育関係法令
- 小学校学習指導要領
- 学校評価
- 実態調査
- 学力・学習状況調査

【学校教育目標】

- (知) よく考え、すすんで学習する子ども(やりぬく力)
- (徳) 心豊かで思いやりのある子ども(ゆたかな心)
- (体) 明るく健康な子ども(じょうぶなからだ)

○かわさき教育プラン

夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く
「自主・自立」「共生・協働」基本施策

【学校経営方針】

- I 新しい社会を創り出す能力や態度の育成に取り組む
- II 児童理解と人権尊重を大切にした指導に取り組む
- III 現代諸課題、喫緊な課題に取り組む
- IV 開かれた学校づくりに取り組む

【めざす子ども像】

1. やりぬく力
 - よく聞き、よく見、よく考え、進んで活動する子
 - 読む、書く、計算に地道に取り組む子
 - 自分の考えをもち、話し合える子
 - 最後まで取り組む子
2. ゆたかな心
 - 進んであいさつのできる子
 - お互いに認め合える子
 - 協力し合える子
 - 心の痛みがわかる子
 - 人を敬える子
3. じょうぶなからだ
 - いのちを大切にできる子
 - 健康や安全に気をつける子
 - 体をきたえる子
 - 地域の文化、スポーツに参加する子

学校経営重点目標

よく考え進んで学習する子どもの育成

○「なりたい自分」にむかって、必要な力や態度を身に着けようとする子(主体的)

○人から学ぶ姿勢と、自分の言動を謙虚にふりかえりながら、自分のよさや可能性を追求する子(対話的)

○習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見出し、追究して粘り強く解決していく子(深い学び)

心豊かで思いやりのある子どもの育成

○人の気持ちを考え、その気持ちを受け止めたり、その気持ちによりそったりしながら、人のために貢献しようとする子

○友だちと仲良くし、お互いに助け合おうとする優しい気持ちや態度を大切にできる子

○場面に応じた気持ちのよいあいさつや言葉遣い、行動、対応ができる子

○異学年の子と分かり合い支えあいながら共に伸びていく子

明るく健康な子どもの育成

○進んで体を動かし、健康や安全、また食について考え、それを生活に生かすことができる子

○自分の考えや思いをしっかりと表し、自分のことは自分の力でできる子

○うまくいかない時に、すぐに人を頼るのではなく工夫したり、努力したりして、自分の力で乗り越えていける子

○自分の身は自分で守る意識をもち、いのちを大切にできる子

喫緊な課題への対応

○危機管理に関する見識を深め、児童の安全管理や健康管理に努める。

○学習状況調査等の分析をもとに、児童につけたい資質能力を客観的にとらえ、改善に取り組む。

○創立70周年・市制100周年事業に関わる取組の創造

○教職員の資質や能力の向上に向けた研修・研究の充実を図ると共に、働き方・仕事の進め方改革に取り組む。

○GIGAスクール構想の推進

開かれた学校づくり

○学校づくりとまちづくりの共通の関心事を束ねて学校教育活動を構想する。

○地域との交流や地域活動への参加を通して地域との連携強化を図るとともに、地域にある学習材を学校教育活動に生かしていく。

○児童の地域に対する感謝の気持ちを育てるとともに、その気持ちを表す活動を展開していく。

○地域の人的資源について、単元構想表に記載し、連携の継続を図る。

今年度の重点目標

よく考え進んで学習する子どもの育成

☆主体的・対話的で深い学びの実現

☆校内研究・校内研修の充実

☆ICTの積極的な活用

☆体験的・問題解決的な学習の充実

心豊かで思いやりのある子どもの育成

☆ペア学年活動の創造

☆人権尊重教育の徹底

☆道徳教育の充実

☆共生・共育の推進

☆キャリア在り方生き方教育の推進

明るく健康な子どもの育成

☆体力向上に関わる取り組みの推進

☆健康安全指導と学習等における安全配慮対応の充実

☆精神的な自立に向けての指導・支援

喫緊な課題への対応

☆校舎内外での児童の安全管理の徹底(施設・授業等)

☆創立70周年・市制100周年事業に関わる取組の創造

☆学習評価研修と単元構想

開かれた学校づくり

☆地域のよさを生かした特色ある教育活動の創造

☆地域の教育力(リソース)を生かした教育活動の推進

☆近隣園・近隣校・近隣施設との連携(幼保小連携)

重点目標にかかわる具体的な取り組み

☆学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善に取り組む。

☆言語活動の充実による、思考力・判断力・表現力の育成

☆体験学習、問題解決的な学習の充実 | ICT活用

☆校内研究・校内研修の充実

☆学力状況調査結果からの課題追究

☆全校的な学習ルールの定着

☆ペア学年活動でのリーダーシップ・フォロワーシップにおける能動的・自律的な判断や行動の育成

☆「川崎市子どもの権利」に関する条例をふまえた人権尊重教育のさらなる充実を図りながら、優しい心配りや言葉遣いのできるあたたかな人間関係を作っていく。

☆特別の教科「道徳」の目指す「考え、議論する」道徳教育への転換を図り、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

☆共生・共育の推進

☆授業、行事、休み時間等を通して、学校生活や家庭生活の中に、外遊びや運動の定着を図る。

☆保健教育と食育を通して、健康や安全についての関心・意欲・態度を育てる。

☆各教科における教材・教具及び場の設定等に関する安全配慮について、検討し事故防止に努める。

☆全教育活動を通して、児童の精神的な自立に向けた指導と支援に取り組む。

☆校舎内外における安全な歩き方や過ごし方の定着を図り、けがや事故を未然に防ぐ。

☆創立70周年・市制100周年「学校e-ね。サミット」事業に関わる取組を創造し、ふるさと川崎・下沼部への愛着をもつ。

☆学習評価の事例研修、単元づくりの中の3評価の位置づけを考える。

☆キャリアステージにおける教職員の資質能力の向上研修の充実。各自の校務分掌における創造的取り組みを行う。

☆地域や保護者、大学や企業等の支援を積極的に活用した学習活動と学校行事の充実を図っていく。

☆「下沼部」というまちのもつよさを最大限に生かした教育活動をつくりあげていく。

☆園児・児童・生徒の各発達段階をふまえながら地域の園や学校との交流を行い、豊かな人間性の育成を図る。

☆地域に対する感謝の気持ちをもち、その気持ちを具体的な態度や行動として表す活動をつくりだしていく。

教職員が心を一つにしてチームとして取り組んでいく